

平成 30 年度 青葉区地域ケアプラザ事業実績評価結果

【評価の考え方】

評価	内容
S	・特筆すべき実績・成果が認められ、事業の実績が優良な施設
A	・事業の実績が良好であった施設
B	・改善の必要性が多数認められ、事業の実績が良好でない施設

施設名	指定管理者 (受託者) 名	評価	評価内容
横浜市荏田 地域ケアプ ラザ	(福) 横浜市 社会福祉協議 会	A	<p><地域ケアプラザ (全体) ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブログの更新頻度を上げ、こまめに情報提供を行うことで、積極的な情報提供に努めています。引き続き、情報が必要な人の下へ届くよう工夫を重ねてください。 ・団体交流会の企画からサブコを巻き込むなど工夫しており、冊子作製などその後の活用に展開できています。 ・障害者の置かれている状況の把握はサービスン基本になります。区社協との協働をお願いします。 ・各事業の連携では、5職種等での共有・役割・連動ができていて、各ケース・地域への支援や事業に生かされています。 ・地域の行事や会議に複数で参加し、地域のニーズ把握に努めています。 <p>地域の中で有機的に活動できるネットワークが広がっています。</p> <p><地域活動交流事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主企画事業について、グループの自主活動に関して、見通しを持ちながら関わることができています。今後他ケアプラザへの情報提供にも期待しています。 <p><生活支援体制整備事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議体が自主的に動きだしていることは、大きな動きです。今後の展開に期待しています。 ・地域活動を話し合いの段階から時間をかけることが自主性につながっています。 ・より広域の地域課題の解決に向けた取組については、1層2層協議体のつなぎ役として役割を果たしています。 <p><地域包括支援センター運営事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談支援業務について、地区情報を分析して具体的な取り組みにつなげることができています。 ・権利擁護業務について、若い方への権利擁護の啓発は大切だと思います。地域内の関係機関、団体との協働にもチャレンジしてください。 ・認知症の分野では、若い層への関わりの工夫をお願いします。 ・一般介護予防事業については、講座終了後の活動展開にも繋がっています。

施設名	指定管理者 (受託者) 名	評価	評価内容
横浜市もえぎ野地域ケアプラザ	(福) 横浜市社会福祉協議会	A	<p><地域ケアプラザ (全体) ></p> <ul style="list-style-type: none"> 総合相談について、町内会班長へ説明会を実施するとともに、新たに地域ケアプラザの連絡先を記載した回覧板を作成する等、相談窓口の周知に努めています。地域包括ケアシステムの実現に向け、地域に高齢者に関するデータ提供や地域ケアプラザ等の説明を継続的に実施されています。 地域イベントの開催箇所数を増やすなど、地域のつながりを増やすための取組を進めています。地域課題をうまくアセスメントし、各職種が上手に連携しながら、地域を巻き込んだ取組に繋がっています。 地域福祉保健のネットワークの構築では、あったかネットワークを通じて、多くの関係者とともに具体的な取組を進め、地域福祉保健のネットワークの構築を図っています。 あったかネットワークを通じて、多くの関係者とともに具体的な取組を進め、地域福祉保健のネットワークの構築を図っています。 地域福祉保健計画を地域発の課題のキーワードとして活用しながら、地域が活動をするきっかけや根拠として提示することで、地域が自ら考え活動を実施することに繋がっています。 <p><地域活動交流事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ボランティアの育成およびコーディネートについて、既存のボランティアに向けて、レベルにあった情報を提供することで、活動継続の意欲向上に結び付ける支援ができています。また、ボランティア活動のメニューも具体的に示したり、既存活動にとらわれず、個人の得意なことに着目して場を提供するなど良い工夫ができています。 <p><生活支援体制整備事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 事業実施体制について、全職種があったかネットワークに関わり、取組を具体的に進めています。 谷本地区社協の改編の時期をとらえ「ちょこボラ」に関するアンケートを実施するなど、目指す地域像に向かって、地域のタイミングを逃さず、ステップを重ねています。また、要支援1～要介護2の方の生活状況調査では多くの方にアンケートを取り、アセスメントに繋がっています。 <p><地域包括支援センター運営事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 民生委員と居宅介護支援事業所との交流会に継続的に取り組み、また、インフォーマルサービスのマップの作成・共有等により、連携を進めています。 認知症の分野では、エリア内のキャラバンメイト連絡会を初開催し、活動の自主性を高められるよう働きかけを行う等、課題への取組が進められています。 医療・介護の連携については、エリア内の医療機関をあったかネットワークの取組と連動させながら個別訪問したり、在宅療養者のための医療・介護連携ノートをケアマネジャーに情報提供する等により、医療と介護の連携を図っています。

施設名	指定管理者 (受託者) 名	評価	評価内容
奈良地域ケアプラザ	(福) ル・プリ	A	<p><地域ケアプラザ (全体) ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待ケースでは介護事業所と連携し本人や家族の些細な変化にも察知しながら区と共に情報共有しながら対応していただきました。施設入所後も本人だけでなく加害家族の支援にもあたり、孤立予防、経済的支援など必要なニーズを見出し対応されていました。 ・ごみ屋敷対応では対象者をCPのボランティア活動に巻き込み、地域の理解を促したり、本人・家族を説得しながら排出作業を完成させました。 ・高齢の父親と統合失調症の悪化した息子2人の家庭において、暴力など躁状態が続く中、粘り強く対象者と関係を構築され、区MSWと連携し入院につなげていただきました。 ・明確な診断はないが、何らかの障害が強く疑われるケースは多く、障害の知識を活かし、相手に合わせたアプローチ方法など、対策を立てながら対応されていました。 ・相談内容を包括だけでなく、コーディネーターも含めて、所内で情報が良く共有されています。鰓た情報から、職種での視点を入れた地域に合わせた事業化ができています。毎月の包括カンファレンスでは5職種が集まり各事業について共有。特に地域ケア会議では地域の課題を出し合いながら開催方法を検討し実施しています。 ・地域福祉保健のネットワークの構築では、小中学校との連携に加え、地域の商店街や医療機関、地区センターとの連携も図られています。 ・徘徊高齢者の地域ケア会議では警察やコンビニなど地域を巻き込んで開催し認知症はもちろん、CPの役割について理解を広めていた。 <p><地域活動交流事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・5職種が情報を共有しながら、それぞれの専門職の視点からの意見を入れ、内容を工夫することで、良い講座が開催できました。引き続き、職種間の連携を取りながらの事業の企画をお願いいたします。 <p><生活支援体制整備事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施体制について、地域内での具体的な取り組みにつながっています。今後も地域の実情に合わせた展開をお願いいたします。 <p><地域包括支援センター運営事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待への対応について、被害高齢者を守ることはもちろん、加害家族の方にも必要な支援を見出し、区と共有しながら対応されていました。施設分離に踏み切る時には、その後の関係にも気を配り、加害家族への説明・説得、再統合時の再発予防の約束事など丁寧に対応されていました。 ・認知症カフェでは毎回様々な職種の相談員が入るよう工夫され参加者がその場で相談できるようになっていました。地域のボランティアの方が多く運営に携わり、地域の理解促進にもつながっていると思います。地域の中学校とは認サポを継続的に開催できています。

			<p>老人クラブ向け認サボもとりまとめの中心となって活動を展開。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内のケアマネの後方支援ができていて頼りにさせる存在になっています。 ・徊高齢者の地域ケア会議では、警察やコンビニが加わり、広く認知症課題について共有することができた。また今後も広がっていくことを期待したい。 <p>奈良北団地のエリア会議ではお祭りを主催した子育てママから意見聴取をしながら担い手発掘の手がかりを得るなど新たな角度から検討することができています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般介護予防事業について、元気づくりステーション「さわやかステップ」では、包括職員に対してのメンバーからの信頼は厚い。長期欠席者に対して個々に声掛けをされたり、リーダーと課題を共有したり運営を支えていました。「奈良山ノルディック」では新たに体験会を開催し参加者を募り、体験会后参加がなかった方にも声掛けを行われていました。
--	--	--	--

施設名	指定管理者 (受託者) 名	評価	評価内容
横浜市さつきが丘地域ケアプラザ	(福) みどり福祉会	A	<p><地域ケアプラザ (全体) ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民参加による権利擁護講座の新規実施など継続参加型の講座を多く取り入れることにより、情報共有や連携が図られています。 <p>事業の参加者の出欠で見守りにつなげている。ゆるやかな見守りをすることで、参加者も安心できる良い取組です。また、その中で気になるケースを包括スタッフに繋ぎ、専門性を生かした取組ができています。</p> <p><地域活動交流事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な対象に向けての事業が展開できています。また、運営についても自治会やボランティア団体とうまく協働しながら活動支援に繋がっています。 <p><生活支援体制整備事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域アセスメントについて、広報紙における地域グループの情報発信は見せ方がとても工夫されており、地域住民からも好評の声が聞かれています。 ・地域への集まりに積極的に出向くことで、情報発信が継続的になされたと思われます。今後は、地域からの情報をアセスメントしていくなかで、アセスメントに基づいた地域に必要な社会資源について整備を進めていけるとよいと思います。 <p><地域包括支援センター運営事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・包括カンファレンスは、地域の多職種・住民との相互理解を促進する場として機能していました。 ・地域ケア会議については、事前準備の段階から区と包括と共に検討することが不十分であったため、次年度は区と包括のカンファレンスにて、相談・共有していけると良いと考えます。 ・成年後見制度について、権利擁護だけでなく、消費者被害

			<p>の取組を地域の活動団体と共に進め、多くの参加者を得て普及啓発ができています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 虐待事例またはその恐れのある事例について、定期的に包括・区とで共有できたことでタイムリーな対応ができました。今後も継続できると良いと考えます。 <p>今年は地域からキャラバン・メイトが一人誕生し、認知症サポーター養成講座をともに実施することができました。今までは包括が中心となり認知症サポーター養成講座を実施してきましたが、今後は、地域でキャラバン・メイトとして活動を担う人材を発掘していきながら、今後も取り組みを広めていけるとよいと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療と介護の連携をテーマにした包括カンファレンスを2回実施したほか、エリア内にある医療機関を個別訪問し、訪問時に個別ケースの相談を受ける等、医療・介護の連携を推進しています。
--	--	--	--

施設名	指定管理者 (受託者) 名	評価	評価内容
横浜市美しが丘地域ケアプラザ	(福) 緑成会	A	<p><地域ケアプラザ (全体) ></p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェの運営を通して、地域の認知症への取り組みの検討ができています。 地域からのニーズに応じて、継続的に施設に出向いた活動を行うなど、自主事業の工夫が図られています。 <p>地域支援の目標を持ちながら、地域のニーズを複数の職種で共有して事業化に結び付ける良い取組ができています。</p> <p><地域活動交流事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 新地域人応援講座を継続して開催し、ボランティアの育成を行いながら、卒業生の活躍の場を提供し、継続した活動ができるようにコーディネートができています。 ホームページのトップ画面から月刊予定表へのアクセスを行いやすくしたり、館内の配架をジャンル別になど分りやすいように分けるとともに、来館者に見えやすい場所に向きを変えるなど工夫が見られます。 <p><地域包括支援センター運営事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の中でケアプラザの役割の理解が広がっています。今後は地域の関係機関・団体との協働事業の更なる取り組みを期待しています。 総合相談支援では、事業別だけではない地域の把握、目的が共有されています。 <p>PDCAサイクルでの取り組みをお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 権利擁護業務について、次年度に向けての課題が明らかになっています。予防の視点での取り組みが具体的に計画されています。 認知症への取り組みが具体的に計画させています。評価の方法についても検討してください。 一般介護予防事業について、介護予防に近隣関係機関連携して取り組むことができおり、次の展開へとつながっています。

施設名	指定管理者 (受託者) 名	評価	評価内容
横浜市大場 地域ケアプラザ	(福) 横浜市福祉サービス協会	A	<p><地域ケアプラザ (全体) ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度から企画実施された「男子の家事塾」については、包括や民生委員からの情報も取り入れながら参加者を募るなど連携が図られていた。寄せられた相談を元に、地域活動交流と包括が連携して、ニーズに対応する事業が展開できています。 ・職員体制・育成については、ベテランの職員と新たな職員が配置されており、また、連携も良くできており、職員の育成するよい環境ができている。また、法人内の同職種での研修を通じ、横のつながりでのフォローする体制ができている。 <p><地域活動交流事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の団体の活動の場として、活動を場所をコーディネートするだけでなく、新規事業の企画に参加してもらい、当事者の視点にたった良い事業へとしました。また、小学生に対して、ボランティア活動の意欲がわく取組をするなど、きめ細かいフォローができています。 <p><生活支援体制整備事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健幸笑てん」に継続的に組み組み、地域との連携・協議を進めています。また、担い手育成の取組も進められています。 <p><地域包括支援センター運営事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止について、本年度初めて成年後見制度から消費者被害防止までの講座を開催し、啓発を進められています。 ・認知症の理解について、地域の企業の職員教育の養成に丁寧に応え、地域での支援者の増に寄与しました。 ・一般介護予防事業について、地域事情に応じた介護予防講座を実施したほか、自主グループ化の支援を行う等、介護予防の普及啓発や地域支援を図っています。また、体力測定を効果的に活用し、地域人材を育成しているほか、生活支援COとも連携し、取組を進められています。

施設名	指定管理者 (受託者) 名	評価	評価内容
横浜市鴨志田地域ケアプラザ	(福) ふじ寿か会	A	<p><地域ケアプラザ (全体) ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域からの要望に応えながら、ケアプラザから遠いエリアの直接的な支援や情報提供による支援ができています。出張相談の件数は少ないですが、ケアプラザから遠い地区へのケアプラザの周知ができており、相談にもつながっています。 ・地域福祉保健のネットワークの構築について、地域の関連団体や学校と連携した事業が活発に実施されています。 ・区行政との連携については、地域福祉保健計画を地域発の課題のキーワードとして活用しながら、地域が活動をするきっかけや根拠として提示をすることで、地域が自ら考え活動を実施することに繋がっています。

		<p><地域活動交流事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員などとの情報交換や、データなどから地域の特徴、ニーズを上手にとらえ、事業を開催することができています。 ・地域のニーズ、活動に従っている人のニーズを上手にとらえながら、ケアプラザが前面に出ることなく、後方支援をしながら、ボランティア団体が自主的に活動できるように団体の育成ができています。 ・地域の社会資源を把握・整理が出来ており、職員間での共有もなされています。住民への周知や情報提供にどの程度活かすことができているのか、評価をしていくと良いと考えます。 <p><生活支援体制整備事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域アセスメント（ニーズ・把握・分析）について、ちよこボラの依頼の集計作業をする等、地域アセスメントの取組を広く進められています。 ・各事業所や関係者との交流会を企画実施する等、連携を図っています。ただし、各職種が分担で事業を担当することが多かったように思います。5職種で協議・実施が出来るようになっていくとよいと考えます。 <p><地域包括支援センター運営事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談支援業務について、地域における見守りの推進に向けて、調整を進めることができています。 ・相談業務は丁寧で、対応も迅速です。気になるケースについては日頃から電話等で連絡を取り合い、情報共有をすることができています。新規職員が抱え込まないように、包括内で対応を検討し共有できています。 ・区・包括で情報共有し、それぞれの職員で対応が異ならないようにネットワークミーティングや包括カンファ等で対応を検討し、一体的な対応をとることが出来ています。介護者のつどいは、専門職（包括）の相談だけでなく、地域の介護経験者がピアカウンセリングの役割を果たしており、参加者にとって有意義なものとなっています。 ・認知症サポーター養成講座でキャラバンメイトさんの協力がありますが、当日のみ参加で役割も少ないため、企画・運営において活躍を促す働きかけをしていけると良いと考えます。 ・包括職員が分科会で医療・連携係になっているため、区内の関係機関の動きを把握できていることは強みです。包括レベルで連動した事業展開に活かしていけると良いと考えます。 ・介護予防従事者研修で介護予防ケアマネジメントについて3包括合同で行いました。先行実施のエリアを参考に改善を加えて実施することが出来、アンケート結果からも有意義なものになっていたと考えます。 ・地域ケア会議の実施は主任CMが担っていますが、包括と生活支援コーディネーターを含め、方針の検討をしていけると良いと考えます。 ・地区診断を区と連携して実施することができましたが、生活支援CO含めた全体で議論していけると良いと考えます。また、介護予防事業については、看護職単独で実施することが多いので、地域課題を踏まえて生活支援コーディネ
--	--	---

		<p>ネーターや地域交流コーディネーターと協働して事業実施ができるとよいと考えます。</p> <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・あおぼ de スタートセミナーでは、講師及び会場、事業の見学を受け入れていただくことで、講座参加者のより具体的な活動のイメージができ、講座が充実したものになりました。
--	--	---

施設名	指定管理者 (受託者) 名	評価	評価内容
ビオラ市ケ尾地域ケアプラザ	(福) 中川徳生 会	A	<p><地域ケアプラザ (全体) ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに荏田西地区の出張相談を開始し、相談機能の充実に努めています。 ・年度末には、5職種と所長、区で、地域の目指す姿において、話し合うことができました。今回の話し合いをふまえて、各事業の連携が取れるように進めていただきたいと思います。 <p><地域活動交流事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・育成したボランティアを別の事業のスタッフとして活動の場を提供するなど工夫が見られます。人材育成事業や地域ケア会議から協議体への展開ができるように地域ケアプラザ・区と話し合いを進めていく必要があると考えています。 ・地域のニーズを既存のボランティア団体と結びつけ事業として上手に展開しています。来年度は、ボランティアに対し、地域のつながりの重要性を認識してもらおう機会を作っていけると良いと考えます。 <p><生活支援体制整備事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェやチーム猿田の後方支援を行い、グループの主体的な運営につながることができています。来年度は、アセスメントをもとに地域課題を住民と共有し、協議体へと展開できるようにしていく必要があります。住民との課題共有を行う時期、内容などをケアプラザ職員、区と協議してください。 ・アセスメントについて、全職種で積極的に取り組むことができました。来年度は、アセスメント結果を地域住民と共有する必要があります。その前に、ケアプラザ職員・区と共有し、地域住民との情報共有方法を検討していきたいと考えます。 ・顔の見える関係作りは構築できていると思われま。来年度は、目指す地域像を共有する必要があります。 ・包括レベル地域ケア会議を行う際は、協議体への展開も念頭に置いて、テーマ決めを行っていく必要があります。そのためには、地域住民に地域課題を理解してもらい、協議体のコアメンバーになりうる人材を地域ケア会議に出席してもらおうような調整をしていくことが重要です。 <p><地域包括支援センター運営事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数、相談内容を統計的にまとめ、地域課題を抽出し、ケアプラザ職員・区との情報共有を図る必要があります。 ・虐待登録ケースにおいて、包括職員・区とタイムリーに共

			<p>有・フォローができています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座受講後、認知症支援に関心のある方々をオレンジサポーターとして登録できるように管理する必要があります。キャラバン・メイト、認知症カフェ支援者が主体的に活動できるように、企画の段階から話し合いの場を設けるなど後方支援する必要があります。 ・来年度内に、インフォーマルサービスをケアマネに情報提供する機会を設けることが必要です。包括カンファレンスなどの場を用いて、ケアマネがケアプランに反映できるくらい具体的な情報を提供する必要があります。 ・来年度内に、インフォーマルサービスをケアマネに情報提供する機会を設けることが必要です。包括カンファレンスなどの場を用いて、ケアマネがケアプランに反映できるくらい具体的な情報を提供する必要があります。 <p>包括カンファレンスの参加者が少ないため、ニーズ把握や開催時期の検討などが必要だと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・包括レベルの地域ケア会議を、戦略的に行う必要があります。地域課題を住民に理解してもらい、主体的に活動してもらうための動機づけとなるような会議にするためには、準備や調整をケアプラザ職員・区とみなで検討する必要があります。 ・年度末にケアプラザ職員・区と地域の目指す姿について話し合う機会を持ってました。今回の話し合いをもとに、ケアプラザ内の各事業において、口腔ケアや社会参加について介護予防活動を展開していく必要があります。 ・田西エリアに出張し、健康講座を開催するなど、ケアプラザ近辺に留まらず、介護予防活動を地域に展開することができました。来年度は保健師の増員もあるため、より積極的に地域に働きかけていくことを期待しています。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・パパの子育て教室の会場として、協力をしてもらっています。
--	--	--	---

施設名	指定管理者 (受託者) 名	評価	評価内容
青葉台地域 ケアプラザ	(福) ル・プリ	A	<p><地域ケアプラザ (全体) ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・包括職員がシフトで窓口固定のため、訪問や地域活動に参加しにくい現状については検討改善が必要と考えます。 ・2か所の認知症カフェを新たに立ち上げるなど、地域の取組を進めることができます。 <p>事業の参加者で気になる人を包括へつなぐなど連携が取れています。また、合築施設である、機関相談支援センターからの相談についてもエリアに関わらず適宜対応しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・包括と地域交流コーディネーターが連携しながら事業を計画していました。 ・包括カンファで実施事業一覧を記載したレジメはありますが、その都度指摘をしないと報告がないため実施状況や評価について区が把握しにくい状況です。区地区担当と包括の協働は例年の課題です。 <p><地域活動交流事業></p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・地域のニーズに基づき、子育て事業に関連するボランティアを積極的に育成できています。 <p><生活支援体制整備事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・区に報告がないため、状況把握が困難です。計画や進行状況は区と共有していただきたいです。 ・地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）について、5職種と区とで地区診断を行いました。 <p><地域包括支援センター運営事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談支援について、合築館の特性を生かして対応・支援につなげていってください。 ・成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止に向けた取り組みについて、基幹や後見的支援室と連携が取れ、効果的な支援につながっています。 ・認知症初期集中支援チームの対象となりそうな方がおり、包括に複数回声掛けをしましたが、同意が得られず導入に至りませんでした。 ・介護予防従事者研修では、介護予防ケアマネジメントについて3包括合同で行いました。先行で実施したエリアの反省も含めて計画・運営ができていました。 ・一般介護予防事業について、事業を行うことが目的にならないよう、区地区担当保健師と事業計画の振り返りを行いました。看護職だけでなく他職種とも連携できるとよりよいと思います。
--	--	---

施設名	指定管理者 (受託者) 名	評価	評価内容
横浜市恩田 地域ケアプ ラザ	(福) みどり福 祉会	A	<p><地域ケアプラザ (全体) ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談について、相談に至る前の地域内の把握をお願いします。 ・小学校との連携や近隣保育園と新たに連携するなど、積極的な連携が図られています。保育園との連携により子ども連れの親に対する事業や支援が充実しています。 ・地域の会議に積極的に参加し情報共有を図るとともに、地域サロンの立ち上げの支援も行い、地域でのネットワークの構築に努めています。 <p><地域活動交流事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・精力的に地域住民や地域施設を巻き込みながら取組を進めるとともに、団体の支援ができています。活動が始まったグループや出来上がった成果を他の取組や団体とつなげることで、更なる展開を期待しています。グループ、団体の習熟・経過に合わせた支援ができています。 ・隣接する中学校と連携し、自習室として開放する取組が浸透してきています。施設を利用する中学生が自習室としてだけでなく、ケアプラザの事業にも興味を向け、地域の担い手となるような連携となることも視野に入れて取組を継続してください。 ・引き続き、講座から立ち上がったボランティア団体が活躍できる場をコーディネートしながら、団体がケアプラザの

			<p>コーディネートなしに自ら考え、提案できるように支援をお願いします。</p> <p><生活支援体制整備事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施体制として、関係団体に計画的に関わり関係性を作ることができています。 ・地域アセスメントについて、地域情報から明らかになった新たな取り組みに期待しています。 <p><地域包括支援センター運営事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護者のつどい、認知症カフェ等認知症に関する取り組みができ、前向きな計画が立てられています。 ・当事者活動のあり方、連携についての取り組みが計画に反映されています。今後の展開に期待しています。
--	--	--	--

施設名	指定管理者 (受託者) 名	評価	評価内容
横浜市たまプラザ地域ケアプラザ	(福) 緑成会	A	<p><地域ケアプラザ (全体) ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な機関と上手に連携を取りながら、相談ができる環境を整えることができています。 ・地域福祉保健のネットワークの構築について、自治会、保健活動推進員、老人会との協力により、事業の連携が図られています。 ・公民連携事業や区が主催する事業などで、区行政との協力が継続して行われています。 <p><地域活動交流事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性、ニーズをとらえながら、他の施設では実施していない、非常に多くの事業を取り組むことができています。 ・地域の潜在的なボランティア人材を上手に発掘しながら、事業を通じて育成を行い、活動の場もコーディネートする事で、ボランティア人材の継続的な活動に結び付けることができています。 <p><生活支援体制整備事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議をエリアの特性に合わせて小単位で実施する等の工夫がみられるとともに、サービスB団体の支援も熱心に進められています。 ・1層協議体や区域のインフォーマルサービスリストの作成へ大きく貢献しました。 <p><地域包括支援センター運営事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関や薬局訪問を頻度良く実施しており、ネットワークの構築を図っています。 ・消費者被害の解決支援を、地域の消費生活相談員と連携して実施する等の工夫をしています。 ・地域ケア会議を通じて、エリアに応じた課題について、必要な関係機関と共に協議を進めることができています。 ・地域の関係機関に講師に来てもらっており、強みになっています。 ・どにち★ひろばでの連携や寄り添い型学習支援の会場提供など行政の事業に対し、非常に協力的に関わっています。

施設名	指定管理者	評価	評価内容
-----	-------	----	------

	(受託者) 名		
横浜市すすき野地域ケアプラザ	(福) 若竹大 寿会	A	<p><地域ケアプラザ (全体) ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談分野について、5職種連携、研修が工夫して実施されています。 ・地域の関係者の中で、おとなりさんを活用する声が増えています。 ・職種横断的な会議を多数設置し、各事業について情報共有が図られています。 ・区の生活支援担当を加えた包括カンファレンスの実施や民生委員をメンバーとする多職種カンファレンスの実施など、支援者とのネットワークづくりが行われています。地域の特性に応じて、インフォーマルを含めた必要な支援者を交えたカンファレンスの開催することで、支援者間のネットワーク形成が進んでいます。 <p><地域活動交流事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てや高齢男性など、テーマ・対象を絞って、事業を実施し、成果を出しています。 ・引き続き、多職種と連携しながら、地域ニーズを把握して事業化及び自主化した団体のサポートをお願いします。 ・育成したボランティアが地域に派遣されているのは大きな成果です。今後の展開に期待しています。 <p><生活支援体制整備事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・5職種が連携して関わりことができおり、サロン・グループの立ち上げに繋がっています。 ・地域の特性に合わせ、近隣の支援機関と連携が取れています。 <p><地域包括支援センター運営事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動に関して状況の把握を意識的に行っており、地域ケア会議等に繋がっています。 ・総合相談支援では、地域の生活の流れに合わせた計画が立てられています。 ・民生委員からの相談が増えており、個別ケースに関してもタイムリーな支援ができています。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・包括カンファレンスに生活支援課が入り、区内の困窮者対策のためのモデル事業として取り組んでいます。